

曾於市の出来事
お届けします！



まちの話題

SOO City's TOPICS

NEWS 大盛況！思いやりそお市民祭



11月11日～12日に末吉栄楽公園グラウンドで、思いやりそお市民祭が開催されました。11日は、毎年恒例のバルーンアーティスト風船のジローちゃんショーが行われ、子どもたちの元気な声が会場に響き渡りました。12日は、西郷輝彦さんの歌のステージがあり、往年の大スターの歌声に来場者は聴き入っていました。

SOO City NEWS 家庭教育学級講演会を開催



11月8日、末吉総合センターで家庭教育学級講演会が開催され、子育て中の母親や保育園の先生など184人が参加しました。講師は認定心理士の徳丸洋子さん。「太陽になろう」と題して、自身のいじめを受けた体験などを交えながら講演が行われました。参加者は、子どもの変化に気づいてあげることの大切さなどを学ぶよい機会となりました。社会教育課では、家庭教育学級を開設しています。詳細については☎099・482・5958までご連絡ください。

SOO City NEWS 関東弥五郎会が桜を植樹



11月4日、弥五郎伝説の里で関東弥五郎会が設立30周年を記念して、シダレザクラの植樹を行いました。当日は、第4代会長の上野泰夫さんをはじめ市長、弥五郎どん保存会の関係者なども参加し30周年を祝いました。上野会長は「法務局存続のため当時の保岡法務大臣と折衝するなど、ふるさとのために会をあげて尽力してきた。今後もふるさとの活性化に貢献していきたい」と話しました。

SOO City NEWS | ローラーすべり台を整備



故障により長い間使用禁止になっていた、コケキャンチ高之峯公園（末吉町深川）のローラーすべり台（全長60^{メートル}）が整備され、11月16日から使用できるようになりました。

1200本のローラーを撤去し、すべり台枠の洗浄・塗装、床板の取り替え、階段の溶接補修、ローラーの取り付けなどを業者と市職員で行いました。

広場には芝生が植えられており、子ども向けの遊具もあります。ぜひご家族で遊びに出かけてみてください。

SOO City NEWS | オズの魔法使いに大興奮！



11月16日、末吉総合センターで毎年恒例の劇団飛行船マスケプレイミュージカルが開催されました。劇団飛行船の公演は、総合センター開館当初から約30年続いています。

今年の演目は「オズの魔法使い」。市内の子どもたちを中心に約550人が鑑賞しました。舞台上で繰り広げられる主人公ドロシーとその仲間たちの冒険に、観客は夢中になっていました。今年もにぎやかな歌と踊りで大迫力の舞台となり、子どもたちは「楽しかった」と笑顔で話していました。

SOO City NEWS | 五穀豊穡と豊年満作を願って



11月23日、末吉の住吉神社で豊祭が行われ、流鏝馬が奉納されました。

流鏝馬は、今年の五穀豊穡と来年の豊年満作を願って行われる伝統行事です。昭和56年には、県の無形民俗文化財に指定されています。

今年の射手は、杉本蓮太さんと別府麻美さん。勢いよく走る馬上から、威勢のいい掛け声と共に次々とのが射抜かれました。射抜かれたのから紙吹雪が散るたびに、訪れた観衆から歓声や拍手が沸き起こっていました。

SOO City NEWS | 市青年団が全国大会で3位



9月2日～3日に鹿児島県青年大会が行われ、曾於市青年団「777（トリプルスリー）」が文化の部「のどじまん」で最優秀賞を獲得し、全国への切符を手に入れました。全国大会は、11月11日・12日に日本青年会館他で行われ、出場した24チーム中3位という素晴らしい成績を収めました。

団員は「曾於市青年団として活気あるパフォーマンスができた」と話しました。同団では、市全体を盛り上げていけるような活動を目指しています。興味のある方は活動に参加してみてください。



11月28日、ヤマザキ（静岡県）グループのアグロ・テクノサービスと立地協定を結びました。

ヤマザキは、安心安全でおいしい原料を作るには健康な土づくりが重要と考え、農薬や化学肥料に頼らない栽培技術を確立するため、平成29年5月にアグロ・テクノサービスを設立。曾於事業所を大隅町岩川に新設し、平成30年3月からの操業を予定しています。

同社社長の山崎寛治さんは「曾於市には大きな可能性を感じる。おいしい野菜ができるかと確信しています」と話しました。



11月26日、大川原峽キャンプ場から悠久の森にかけて悠久の森ウォーキング大会が開催されました。

小雨の降る天候にもかかわらず、市内をはじめ、九州各地から多くの方が参加しました。

コース上には、もみじの記念植樹体験やリース作りコーナー、森の写真展などが設置され、参加者は、楽しみながら大自然を満喫していました。

市内からの参加者は「毎年楽しみで参加している。大自然に癒されました」と話しました。



12月1日、道の駅すえよしでイルミネーション点灯式が行われました。

今回飾り付けされた電球は2万球で、高さ3層の光るそお星人に子どもたちは大興奮の様子でした。点灯式終了後は、リベロアンサンブルによる合唱やメセナ楽団の演奏があり、来場者はクリスマスソングを口ずさんでいました。子どもたちには袋詰めされたお菓子のプレゼントもあり、ひと足はよいクリスマスを楽しんでいました。

イルミネーションの点灯は、1月中旬まで行う予定です。



11月30日、市役所本庁で曾於高等学校生徒大学等進学祝金贈呈式が行われました。

これは、国公立大学進学者や成績優秀な私立大学等進学者に30万円、成績や進学先などに応じて10万円か5万円が贈られるものです。

今回の対象者は、1期生の46人。贈呈式では、市長が鹿児島国際大学に進学した山村ひかりさんに目録を手渡しました。山村さんは「いただいた祝金は、社会福祉士の資格を取るための教材費に充てたいです」と話しました。

SOO City NEWS 「小さな親切」運動で最高賞



12月7日、「小さな親切」運動推進功労者表彰で、財部支部代表の江川良弘さんが最高賞の内閣官房長官賞を受賞し、市長へ報告に來られました。

平成12年に「小さな親切」運動財部支部に入会。青少年の心の育成を目的に、作文コンクールを長年に渡り開催しています。また、都城支部との交流活動が全国でも例のない活動として高く評価されました。

江川さんは「皆さんのご協力のおかげで受賞できました」と話しました。

SOO City NEWS 石井秀岱さんPR大使就任



12月5日、津軽三味線奏者の石井秀岱さんが11人目のPR大使に任命され、市役所本庁ロビーで就任式が行われました。

大隅町出身の石井さんは、8歳から津軽三味線を始め、全国大会でも優勝経験がある実力の持ち主です。現在は、鹿児島市に在住しながら日本各地や海外で演奏活動をしています。

石井さんは「三味線を通じて、曾於市の良さをPRしていきたいです」と話しました。式典終了後にミニライブも行われ、市民の皆さんが聴き入っていました。

SOO City NEWS きく（菊）ばり運転を呼びかけ



12月8日、曾於警察署で平成29年年末年始特別警戒の出発式が行われました。

この運動は年に3回実施され、安全安心協会や交通安全協会など約30の団体が地域の安全を見守っています。

出発式の前には、JAそお花き部会によるスプレー菊の配布がありました。「花育」の一環で、大隅中学校1年生の生徒が手書きのメッセージを添えて100束を作成。花束を受け取ったドライバーは「気配り運転を心がけます」と話しました。

SOO City NEWS 末吉元気牧場が一席を獲得



12月7日、株式会社ナンチクで第2回曾於市肉牛枝肉共励会が開催され、市内の肥育農家から48頭（和牛去勢40頭、和牛8頭）が出品されました。

最優秀賞一席「市長賞」に輝いたのは、(株)末吉元気牧場が出品した雌牛。格付はA5で、雌牛ながらもロース芯面積や肉色に優れた素晴らしい枝肉でした。

最優秀賞一席 (株)末吉元気牧場
最優秀賞二席 片蓋 廣志
最優秀賞三席 (株)加治佐畜産
マーケットニーズ賞 (有)ダイユー第2農場